

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2019年 夏号 vol.26



▲病理診断科では多職種連携により正確で再現性の高い病理診断に努めています。

特集 「病理診断科」のご紹介

がん診療コーナー 胆管がん

お知らせ 看護の日「市民病院の保健室」開催 ほか

もっと知りたい 薬剤部

地域の絆 野村整形外科

長岡内科・画像診断クリニック

2019.8.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。



特集

病理診断科のご紹介 病理診断とは

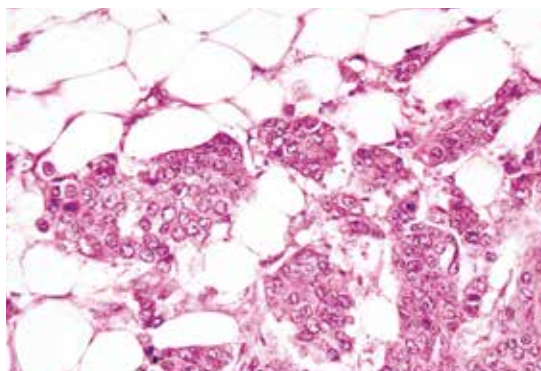
細胞や組織の診断

病理診断科部長

やすだ だいせい
安田 大成

「病理診断」、「病理医」、もうひとつピンと来ない、どんな仕事かしら、とよく言われます。内科、外科、皮膚科、産婦人科など、どんな科を受診されたとしても、細胞や組織をお身体から採取し、病気の診断に資することがなされますが、実は細胞や組織を実際に見て診断しているのは病理医なのです。病理医はいわば裏方で、患者さまの細胞や組織を主に顕微鏡を用いて観察し、診断書を作成し、各科の医師に報告しています。

その際、臨床検査技師が、生きた細胞や組織を顕微鏡観察に適する形に加工します。プレパラートという言葉が聞かれたことがありません。練達の技術で1000分の3mmという薄さに組織を切り、適切な染料を用いて美しく染め上げます。そうして完成したプレパラートを病理医が観察して、病名を付けるわけです。



乳腺の顕微鏡写真

脂肪組織(赤い円形の部分)にがん細胞が浸潤している。



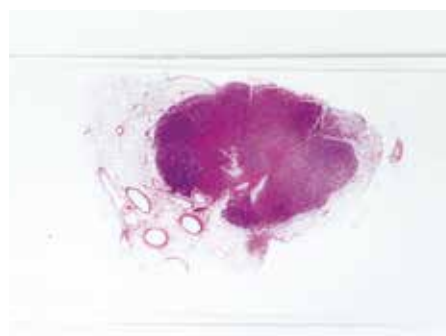
乳腺外科カンファレンスの様子

乳腺外科・病理診断科の医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師の多職種で行われます。



プレパラートに加工する様子

臨床検査技師が、生きた細胞や組織を顕微鏡観察に適する形に加工します。



肺のスライド標本

顕微鏡で観察するために作製した標本。楕円形の赤みの強い部分ががんと思われる所。

診断精度を上げる工夫

病理診断は、名前の分からない一つの細胞の顔つきや、名前の分からない複数の細胞が連なって描き出す模様を見て、名前を付ける作業です。いわば絵を評価するようなものですから、どうしても主観に左右されやすい面があります。見る人によって診断が変わるようでは安心して治療できません。そこで診断に客観性を持たせるために大変有用なツールがあります。免疫染色という方法です。

人体を構成する60兆とも言われる細胞は、基本的にはすべて同じ遺伝子(DNA)をもっていますが、細胞の形や働きは多種多様です。この不思議な現象は、DNAという分厚い本のどこが開かれ読まれているかが細胞ごとに異なることから来ます。その結果、特定の細胞には特定のタンパク質が作られ、細胞の多様性が生まれるわけです。タンパク質そのものは病理医が通常用いる顕微鏡では見えませんが、免疫染色を用いると、染め出すことができます。しかも、特定のタンパク質に狙いを定めてそれだけを染めることができます。

たとえば、肺の悪性腫瘍である小細胞がんと悪性リンパ腫の細胞は非常に似た形をしています。治療法は全く異なります。名前をつけ損なうと患者さまの命に関わります。免疫染色を用いることで両者の区別は極めて容易に、客観的に行えるようになりました。当院ではこの技術を積極的に導入して、正確で再現性の高い病理診断に努めています。

また、幸いなことに2019年4月から常勤病理医半田瑞樹院長が加わり、「ひとり病理医」状態を脱却できました。これにより、もっと精度の高い診断をもっと早く下すことができるようになりました。

病理診断に臨む時、 肝に銘じよう

病理医は患者さまの顔を大抵知りません。ガラスに貼り付けられた細胞・組織と向き合っていますと、機械的作業に陥りやすいものです。

病気に苦悩する生身の患者さまが、痛く苦しい思いをして提出してくださった標本であること、自分の診断が一人の人間の人生を左右することを常に思い出しながら、真摯に診断に臨む、これが技術よりも肝要なことではないかと考えています。

胆管がん（胆道がん）とは

胆管とは、肝臓で作られた胆汁を十二指腸まで流すための管で、その途中に胆汁を一時的に貯める胆嚢たんのうがあります。これら全体を胆道と呼び、胆道に発生するがんを胆道がんと呼びます。胆道がんはがんの発生部位別に肝内胆管がん、肝門部領域胆管がん、遠位胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がんに分けられます。日本では、胆道がんが年間2万人が亡くなっており、部位別がん死亡数で6番目に多いです。最近、ワイン愛好家の女優、著名なラグビー選手や柔道家、ゲーム会社社長などが胆管がん罹患されたとの報道が相次ぎました。

発見しにくい胆道がん

胆道がんの代表的な症状に目や体が黄色くなる黄疸があります。これは、胆管が

がんによって塞がれ、胆汁が流れにくくなることで起きる症状で、皮膚のかゆみ、茶色い尿、白っぽい便が出るといった症状を伴うこともあります。検診で肝機能異常を指摘され胆道がんが発見される場合もあります。胆嚢がんや肝内胆管がんでは超音波検査で偶然発見されることもありますが、自覚症状が現れて診断された時にはがんが進行していることも多いです。

治療には専門的な知識と技術が必要

胆道がんの治療には手術、抗がん剤治療、放射線治療などがあります。

手術のみが完治する可能性のある治療ですので、可能な限り手術によるがんの切除を目指します。胆道は肝臓や膵臓、肝臓を栄養する血管などと近接しており、がんが少し周囲に広がっただけでもいろいろな臓器と一緒に切除しなければならなくなります。肝臓の近くの胆管（肝門部領域胆

管がん）では、肝切除が必要になりますし、遠位胆管がんでは膵臓、十二指腸、胃の一部までの切除（膵頭十二指腸切除）が必要になります。いずれもお腹の手術の中では一番大きい部類の手術で、切除可能かの判断を含めて、治療に当たっては高度な技術と豊富な経験が要求されます。

日本肝胆膵外科学会では肝臓・胆道・膵臓の手術を安全・確実に行える医師として「高度技能専門医」の認定、日本胆道学会では胆道疾患に関する専門的技量を有する医師として「胆道学会指導医」の認定を行っており、当院では両資格を認定された医師が手術を含めた胆道がん診療に当たっています。胆道がんと診断された、疑いがあると言われたら、ぜひ当院にご相談ください。

<消化器外科部長>
あまたに かずひろ
大谷 和広

【連載 エッセイ】

栄養管理部

各種教室について

栄養管理部は耳鼻咽喉科平医師を部長とし、管理栄養士5名、栄養士1名、委託職員33名で、衛生面や栄養面に配慮した給食管理、個人・集団栄養指導、栄養サポートチームによる特別な栄養管理などを行っている部署で、「食」を通じて患者さまに貢献できるように取り組んでいます。

一方で、市民の皆さまに向けた生活習慣病予防のための教室も開催しています。現在、当院では多職種協働での糖尿病教室、楽塩教室（減塩教室）、そらまめ教室（慢性腎臓病についての体験食付き勉強会）など複数の教室を開催しています。これらの教室を開催したきっかけは、「退院後の食事管理がきちんとできない」、「献立が思いつかない」、「同じような疾患を持った方と情報交換がしたい」といった多くの相談を受けた

ことによりです。

当院の教室は、「料理」に重点をおいた内容になっています。適切な栄養素の摂取をどのようにして料理に展開するのかということに力を入れており、実際に調理した食事を試食しながら学んでいたという声があります。参加者の皆さまからは好評を得ており、1年近く継続的に参加される方や友人を誘って参加される方も多数おられ、参加者同士の交流の場ともなっており、食事療法を頑張る方々の輪が広がっていることを実感しています。

私達は食と栄養の専門職として、患者さま、また市民の皆さまを「食」を通じてサポートできるように努めてまいります。



管理栄養士 かみぐち たつや
上口 竜也

皆さまの参加をお待ちしています！

市民病院からの お知らせ

hospital news



看護の日「市民病院の保健室」を

開催しました

令和元年5月10日(金)シーモール下関2階ピアモールにて下関市立市民病院看護部看護の日企画委員会主催で「市民病院の保健室」を行いました。

近代看護を築いたフロレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は日本看護協会によって「看護の日」に制定されています。看護の仕事を知ってもらい、看護すること、助け合うことに理解と関心を深めてもらう

ため、12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」として、各地で幅広い年代の方が参加できるイベントが行われています。

当院のイベントでは看護師による血圧測定・体脂肪測定・健康相談の他、薬剤師によるお薬相談、理学療法士によるリハビリ相談、管理栄養士による栄養相談が行なわれ、多くの方々にご参加いただきました。

日本医療機能評価機構・認定病院患者安全推進協議会
転倒・転落予防標語受賞作品

金賞

転ばぬよう
筋トレ 脳トレ
危険とれ

食堂がリニューアル

オープンしました!

当院の食堂が令和元年5月、「グルメプラザ」として新しくオープンしました。日替定食をはじめとした豊富なメニューをご用意して、皆さまのお越しをお待ちしております。



営業時間は平日8時30分から15時(オーダーストップは14時30分)です。

登録医の先生方へ

令和元年度下関市立市民病院地域医療連携の会を開催します。

令和元年11月13日(水)19時より

※ご案内は後日郵送いたします。

転倒・転落予防の標語が 金賞を受賞しました

【作成者】リハビリテーション部

技師長 安部 裕美子

『金賞』という素晴らしい賞を頂き、驚きと喜びと感謝の気持ちで一杯です。

この作品は、今まで現場で感じてきたことを基に作成しました。転倒・転落予防には、身体と頭を鍛えて、生活の場の環境を整えることが大切だと、多くの方に実感していただきたいです。今後も転倒・転落予防の取り組みに積極的に関わってまいります。

日本医療機能評価機構・認定病院患者安全推進協議会は転倒・転落予防について様々な取り組みを行っています。平成30年9月から11月に会員病院を対象に転倒・転落予防の標語募集が行われました。80の会員病院670句の応募作品より当院の応募作品が金賞に選ばれました。

これからも転倒・転落予防をはじめ医療安全対策に取り組んでまいります。

訃報

当院(当時下関市立中央病院)第六代院長(在任期間 平成8年4月~平成13年3月)、赤尾元一氏(あかお げんいち)が令和元年6月27日に逝去されました(84歳)。ここに生前のご功績をしのび、謹んで哀悼の意を表すとともに、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

当院で働く職員を紹介します。

もっと知りたいたい。

薬剤部



薬剤師
ふじばやし だいき
藤林 大希

「薬剤師」の主な仕事内容を教えてください。

「薬剤師」と言えば、「薬を調合したり準備（以降、調剤）して渡す人」というイメージを持たれている方が多いと思いますが、それは業務のごく一部で、調剤・監査（ミスがないか確認すること）、服薬指導、抗がん剤・無菌製剤の調製、患者さま・医療スタッフへのお薬情報提供、薬品管理、入院時の持参薬確認、病棟薬剤業務など、多岐に渡る業務を行っております。

また、その他に委員会やチーム医療への参加など、それぞれに個別の業務なども行っています。



▲レジメン（抗がん剤を投与する計画書）と薬剤の監査作業

「薬剤師」を目指したきっかけは何ですか？

漠然と人を助ける仕事に就きたいかと思っていたので、医療従事者には興味を持っていましたが、具体的な将来像はありませんでした。

そんな中で、テレビで薬剤師という職種を知り、医師・看護師以外にも医療現場で活躍している職業があることを認識していなかった私には強く印象に残り、それがきっかけになっています。

「薬剤部」はどのような職場ですか？

経験や知識に優れた先輩方に加え、ここ数年でも6年制課程（薬剤師養成）卒業の若い世代の人材が多く入職しています。

淡々と業務をこなすだけでなく、活気と笑顔にあふれた職場になっています。



▲患者さまに正しく安心してお薬を使用してもらう「最後の砦」が薬剤部です。

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

日々の自己学習による基礎知識の向上はもちろんのこと、業務を円滑にする上で、患者さまや医療スタッフとの積極的なコミュニケーションを大切にしています。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることを教えてください。

学会や研修に行くこともあるため、予定のない休日はネコと一緒にのんびりと過ごすことが多いですが、元気のある時は手間のかかる料理などに挑戦することもあります。

また、たまに職場の同僚や友人とテニスをしています。

認定看護師 だより Vol.24



がん化学療法 認定看護師

うえの たえこ
上野 妙子



がん化学療法の進歩はめざましく、従来の抗がん剤、分子標的薬に続き、免疫チェックポイント阻害薬が登場しました。今ではそれらの薬を単独で使ったり組み合わせたりと治療も複雑になり副作用も多岐にわたります。

私は、化学療法を始める前のインフォームド・コンセントに同席し患者さまが医師の説明を十分に理解し納得の上で治療を選択し、安心して化学療法を受けていただけるようサポートしています。また、患者さまが副作用で苦しむことなく治療を継続できるよう今後も患者さまに寄り添った看護を実践していきたいと考えております。化学療法でお困りのことがありましたらご相談ください。

地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

野村整形外科

副院長 野村 裕 先生



野村整形外科の野村 裕です。下関に戻る前は広島赤十字・原爆病院で脊椎外科を専門としておりました。平成 29 年度に下関市立市民病院で常勤医として勤務致しました後、平成 30 年度より父と二人で開業しております。とは申しましても、田中理事長、白澤副院長を始め諸先輩方のご厚意に甘え、現在も毎週木曜日に市民病院で脊椎手術を執刀させて頂いておりますので、術後の患者さんの回診など市民病院へは毎日のように顔を出させてもらっております。関係者の皆様、心より感謝しております。

野村整形外科では私が新患診察を担当しております。今まで勤務してきた病院と同等以上のレベルで、できる限り正確な診断を行いたいと心がけております。特に脊椎の診断には MRI が有用ですが、幸いにも近隣の伊藤内科医院で2日以内に撮影できますので大変助かっております。神経根ブロックは得意な方ですので、適応のある患者さんには除痛と確定診断の為に行っております。

外来診療では時に大変珍しい症例と出会うことがあります。自分自身の研鑽の為、医学の向上の為、ひいては患者さんの為、開業致しましても今まで通り積極的に学会で報告し、可能な限り論文（できれば英語論文）で発信してゆく所存です。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

〒751-0849 下関市綾羅木本町4丁目8-1 TEL：083-253-6868 <整形外科、脊椎外科、リハビリテーション科>
月・火・水・金：8:40～12:00、14:30～18:00 木・土：8:40～12:00（午後休診）*木曜日は副院長不在

長岡内科・画像診断クリニック

院長 長岡 榮 先生

下関市立市民病院各科の先生方、職員の皆様には日頃より紹介患者さんを快く引き受けて頂き、更に逆紹介も頂き誠に感謝しています。

当院の紹介をさせていただきます。昭和61年より勤務していた下関市立市民病院を平成20年で退職し、平成21年1月に当院を開院しました。今年で10周年を迎えます。生活習慣病を中心とした内科診療と共に、CT検査、X線検査、エコー検査などの画像診断による診療を行っています。患者様との対話を職員全員が心掛け、対話型の診療を行い、地域医療機関および関係諸機関との連携に努めています。

CT検査は多くの開業の先生に利用して頂き、大変感謝しています。検査後すぐに診断レポートをお渡しし、検査の即時性を大事にしています。また、開院当初より大腸CT（CT-colonography）を行っています。平成29年に最新の80列MDCT（CANON社製）を導入しました。

下関市内で最新鋭・最高のCTであり、より高速に、より鮮明になりました。これにより冠動脈CTも可能となりました。Work Stationも更新しほとんどの画像処理が可能です。

今後も市民病院の先生方との連携を密にし、患者さんのための地域医療に努めてまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

〒750-0008 下関市田中町1-13 TEL：083-223-5050 <内科、放射線科、消化器内科、呼吸器内科>
月・火・水・金：9:00～12:30、14:00～18:00 木・土：9:00～12:30（午後休診）



外来診療のご案内

2019年8月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金	
内科・消化器内科			具嶋 正樹/加来 寿光	澤野 美由紀	具嶋 正樹	澤野 美由紀	加来 寿光	
内科・呼吸器内科			畑 亮輔(※)				原 幸歌(※)	
内科・循環器内科			金子 武生/與田 俊介	金子 武生	安田 潮人	辛島 詠士	辛島 詠士/有馬 岳史	
禁煙外来(午後・予約制)					金子 武生			
内科・腎臓内科				坂井 尚二 中村 亜輝子	田中 洋登 荒瀬 北斗(※)	坂井 尚二 午後:吉村 潤子(※)	前田 大登(※)	
内科・血液内科				久保 安孝		久保 安孝		
内科 リウマチ膠原病内科			大田 俊一郎 柏戸 佑介(※)		大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)	福元 遼(※)	大田 俊一郎	
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)				相良 理香子(※)(糖尿病内科のみ)		伊藤 淳(※)(糖尿病内科のみ)		
内科・胆膵外来			五十嵐 久人(※)(午後)		五十嵐 久人(※)			
神経内科(午前中・予約制)					本田 真也(※)			
精神科					中津 勇紀(※)			
心臓血管外科				上野 安孝/今坂 堅一		上野 安孝/栗栖 和宏		
外科	午前		牧野 一郎/宮竹 英志 持留 直希	石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	田村 徹郎	石光 寿幸 大谷 和広	
	午後		院長外来(院外紹介) 宮竹 英志/持留 直希	乳腺外来 石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広	ストーマ外来(第2・第4) 田村 徹郎	乳腺外来 石光 寿幸 ストーマ外来(新患)第2・第4 大谷 和広	
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)			吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一	
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)				井上 政昭		井上 政昭/近石 泰弘	井上 政昭(予約のみ)/本多 陽平	
小児外科					中村 睦/九大派遣医師	田口 匠平(※)(第1・第3午後)		
脳神経外科			中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/高原 健太	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 高原 健太(午後)	
整形外科	再診		白澤 建藏/大角 崇史/ 上妻 隆太郎	太田 浩二/但馬 祐季	山下 彰久	原田 岳/橋川 和弘	渡邊 哲也/國分 康彦	
	新患		太田 浩二	渡邊 哲也 國分 康彦	白澤 建藏 原田 岳 大角 崇史	山下 彰久 但馬 祐季	橋川 和弘 喜多 正孝(※)(午前)	
泌尿科	一診(初診)		吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟	
	二診(予約のみ)		徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範	
眼科			石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣(午前中) ロービジョン外来(第4午後)	石村 良嗣(午前中)	
放射線診断科				箕田 俊文				
放射線治療科			有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子	
小児科	午前	小児科	河野 祥二	河原 典子	河原 典子	岡崎 咲栄(※)	河野 祥二	
	午後	予約制	アレルギー 心身症		河野 祥二		大賀 由紀(※)	永田 良隆(※)(再診)
		予約制	健診・予防接種 アレルギー		河野 祥二		河原 典子	永田 良隆(※)(再診)
		予約制	慢性疾患 心身症 神経			河野 祥二/河原 典子		河野 祥二/河原 典子
産婦人科	午前	一診	前田 博敬(第1・第3・第5) 川崎 恵欣(※)(第2・第4)	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬		
	二診							
疼痛外来 バイクリニック内科			藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹	
皮膚科			内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	
耳鼻咽喉科			平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 増田 智也	平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 増田 智也	平 俊明 増田 智也	
歯科・歯科口腔外科			上原 雅隆/細井 俊輔 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆/細井 俊輔 長畑 佐和子	上原 雅隆 細井 俊輔	上原 雅隆/細井 俊輔 長畑 佐和子	上原 雅隆 細井 俊輔	
緩和ケア外来							牧野 一郎/午前中(予約制)	
救急科(午前・午後)			中原 千尋	尾中 貞夫	中原 千尋/木幡 亮	中原 千尋/尾中 貞夫	中原 千尋/木幡 亮	

◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください)

◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)

◆ロービジョン外来(眼科外来:要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援

ホームページ
リニューアル
しました!



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>

地域連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。